

まことこの道【文月】七月

ふみづき

ちちはは

父母は

いえ

わが家の神

わが神と心つくとして

いつけ人の子



本居宣長

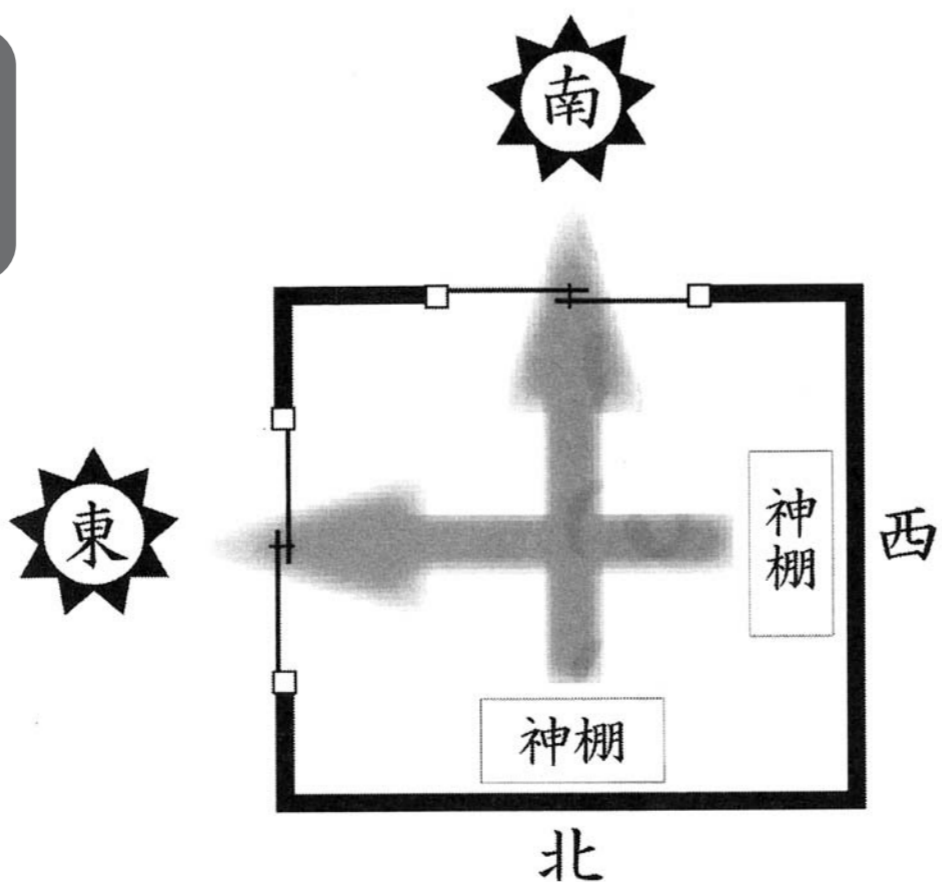
家庭祭祀のおすすめ

神棚を祀る方角

神棚を祀るときには、一般的に日が昇る東向きか、陽光が最も降り注ぐ南向きを原則に、家中で最も清浄な場所を選んでお祀りします。これは神棚が家族や家庭の守りの中心として重要だからです。

豆知識

神社は一般的に南向きか東向きに建てられていることが多いです。しかし、地勢的問題やその神社の特別な由緒から西向きや北向きに建てられていることもあります。



神奈川県
神社庁
ウェブサイト

まことの道

七月

ちちはは
父母はわが家の神わが神と
いえ
心つくしていつけ人の子

もとおりのりなが
本居宣長

ご自由に一枚づつお持ち下さい。

神奈川県神社庁

〒235-0019横浜市磯子区磯子台20-1

TEL:045(761)6387

FAX:045(761)0100

E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



7月の 祝日

●海の日

海の日（七月第三月曜日）

（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う）

明治天皇が明治九年六月より陸路で東北を巡幸じゆんこうされ、汽船「明治丸」にて青森から函館へ立ち寄り、その後海路で還幸かんこうされ、七月二十日に無事横浜港へ帰着されたことに由来しています。戦前から「海の記念日」と定められていましたが、平成七年に「海の日」として国民の祝日に加えられました。そして祝日法改正に伴い、平成十五年より七月第三月曜日に定められています。

我が国は海に囲まれ、水産資源をはじめ多くの恩恵を海からいただいています。海の役割について感謝すると共に、温暖化による海面上昇の影響や国際的な海洋汚染問題にも目を向けていきたいと思います。